

子どもに本の楽しさを

吉田ひとみさんが文部科学大臣表彰を受賞

子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める優れた実践を行っている個人・団体に贈られる、令和5年度「子供の読書活動優秀実践」で、吉田ひとみさんが文部科学大臣表彰を受賞しました。吉田さんは、「本とお話の会」の一員として、おおづ図書館での「おはなしフェスタ」の開催や、おおづ図書館のおはなし会での読み聞かせ、県の委嘱を受けた「肥後っ子いきいき読書アドバイザー」の活動など、子どもたちにおはなしの楽しさを届ける取り組みを継続して行っています。



左から吉良教育長、吉田ひとみさん、金田町長

半導体人材育成強化へ

日総工産株式会社 研修施設 2 棟目完成

製造系人材サービス大手の日総工産(株)(大津町室・本社：横浜市)は、5月30日、2棟目となる半導体関連人材研修施設の竣工落成式を行い、関係者約60人が出席しました。日総工産(株)は、昨年4月に第1棟目となる施設を開所後、約80人の研修生を育成してきましたが、今後は、年間300人の育成を目指しています。清水電一代表取締役社長執行役員は「企業ニーズに応えながら、地域産業の発展にも貢献していきたい」と今後の抱負を述べられました。



2 棟目となる研修施設。右奥が第1棟研修施設

企業と共に住みやすい町へ ～企業版ふるさと納税贈呈式～

株式会社英和実業

企業版ふるさと納税の贈呈式を5月9日に役場で行い、株式会社英和実業(本社：熊本市)の佐野誠治代表取締役社長から目録が贈呈されました。町の地方創生への取り組みに対する支援に対し、金田町長から感謝状を贈呈しました。寄付金は大津町・まち・ひと・しごと創生総合戦略における地方創生事業に活用します。佐野代表取締役社長は「『誰もが世界で一番住みたいまち』を目指したまちづくりにご活用いただきたい」と述べました。



(株)英和実業 佐野誠治代表取締役社長(前列右から2番目)

株式会社明和不動産

企業版ふるさと納税の贈呈式を5月9日に役場で行い、株式会社明和不動産(本社：熊本市)の川口英之介代表取締役から目録が贈呈されました。町の地方創生への取り組みに対する支援に対し、金田町長から感謝状を贈呈しました。寄付金は大津町・まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるインクルーシブな社会づくりに向けたみんなの公園プロジェクト事業に活用します。川口代表取締役は「より良いまちづくりにご活用いただきたい」と述べました。



(株)明和不動産 川口英之介代表取締役(前列右から2番目)

子どもの笑顔があふれる町に

子どものこえを聞くプロジェクト



町内の教育・保育施設が協力し、子どもたちの元気な「こえ」を届ける「保育ドキュメンテーション」の展示を5月から6月にかけておおづ図書館と役場で行いました。

保育ドキュメンテーションとは、子どもの様子を写真やコメントなど、視覚的に記録するものです。町では、子どもの育ちを地域で見守る環境づくりの一つとして、令和4年度からこのプロジェクトを実施し、保育ドキュメンテーションを公開しています。



地域の子どもの遊び場に

町内には、地域の子どもの遊び場として園庭を開放している保育施設や児童福祉施設があります。

若草児童学園では5月24日、新たに遊具が寄贈されました(NPO法人プレイグラウンド・オブ・ホープとヒルトン福岡シーホークより)。



園庭開放や子ども向けイベント情報はこちら▶



「2 t タンク給水車」 寄付

株式会社イズミ車体製作所へ感謝状贈呈

株式会社イズミ車体製作所は、レントゲン検診車、救急車などの「特種車両」を製造販売されており、大津町に本社があります。この度、「2 t タンク給水車」の寄付をいただきました。この車両によって、火災発生時など消防水利が不足する場合、「消防団が水を運んで消火する」という効果的な消火活動が期待できます。5月17日に町消防団も参列し寄付贈呈式を行い、金田町長から感謝状を贈呈しました。



(株)イズミ車体製作所國武幸弘代表取締役社長(前列中央)

梅の造花贈呈式

肥後大津民芸造花保存会から大津北中学校に贈呈

梅の造花贈呈式が6月7日に大津北中学校で行われ、肥後大津民芸造花保存会から贈呈されました。中尾幸治校長は「多くの人に大津町の誇れる文化を広め、鑑賞いただきたい」と話し、肥後大津民芸造花保存会の新開会長は「これを機に梅の造花の文化に興味を持っていただきたい」と笑顔で話されました。「梅の造花」は町指定無形民俗文化財で、大津北中学校以外にも役場ロビーやオクスプラザ、歴史文化伝承館や町内小中学校などにも寄贈、展示されています。



左下から肥後大津民芸造花保存会 福田ユリ子さん、新開ツキ子さん、河北昭子さん、大久保千代美さん